

公立森町病院における 医師の働き方改革

令和2年1月17日
公立森町病院院長
中村昌樹

病院基本情報

H31年4月1日現在

★公立森町病院

病床数: 131床 (急性期病棟45床 地域包括ケア病棟48床 回復期リハビリテーション病棟38床)

診療科: 常勤 内科、外科、整形外科、小児科、歯科口腔外科
非常勤 耳鼻科、泌尿器科、皮膚科

医師数: 常勤10名 (内科3名、外科3名、整形外科1名、小児科2名、歯科口腔外科1名) 非常勤39名

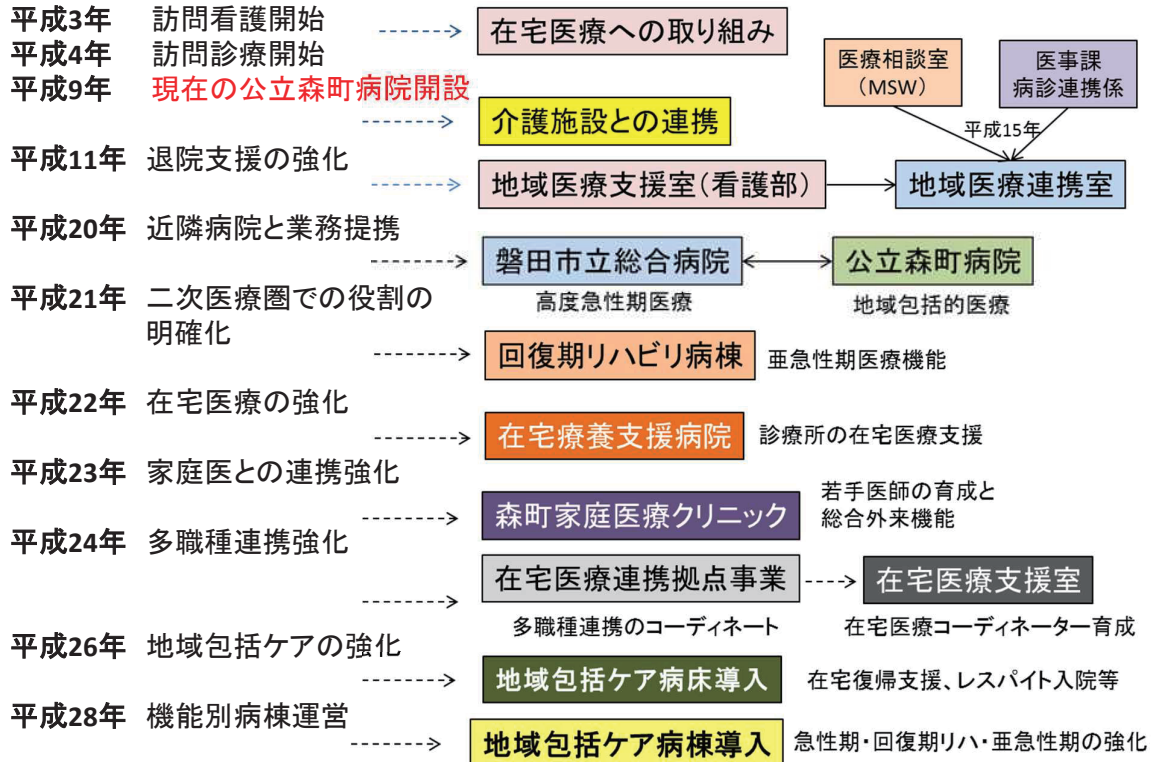
★森町家庭医療クリニック 常勤医師4名 レジデント5名 非常勤医師4名

★森町訪問看護ステーション

看護師11名 (正規5名 臨時4名 パート2名) PT1名 OT1名 事務2名



公立森町病院の歩み

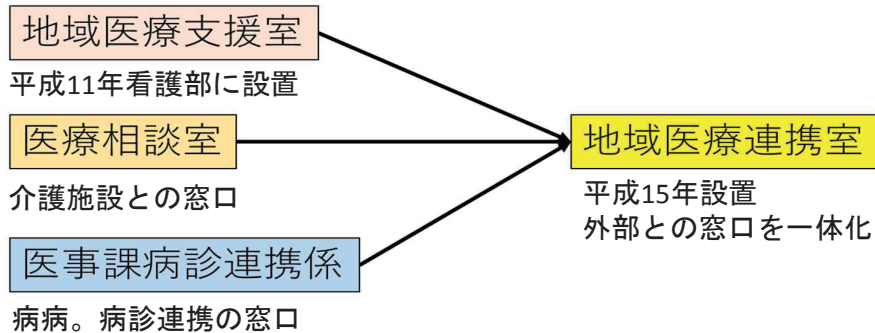


医師業務支援における当院の取り組み

- 退院支援の強化（平成11年 地域医療支援室設置）
- 医師評価級の導入（平成14年 町の条例改正）
- 医局秘書の配置（平成20年）
- 在宅医療コーディネーターの配置（平成24年）
- 医師事務作業補助者導入（平成26年）
- 入退院センター機能の導入（平成28年）
- 病病連携・病診連携・地域住民との連携（継続）
- 救急医療体制の見直し（平成30年）

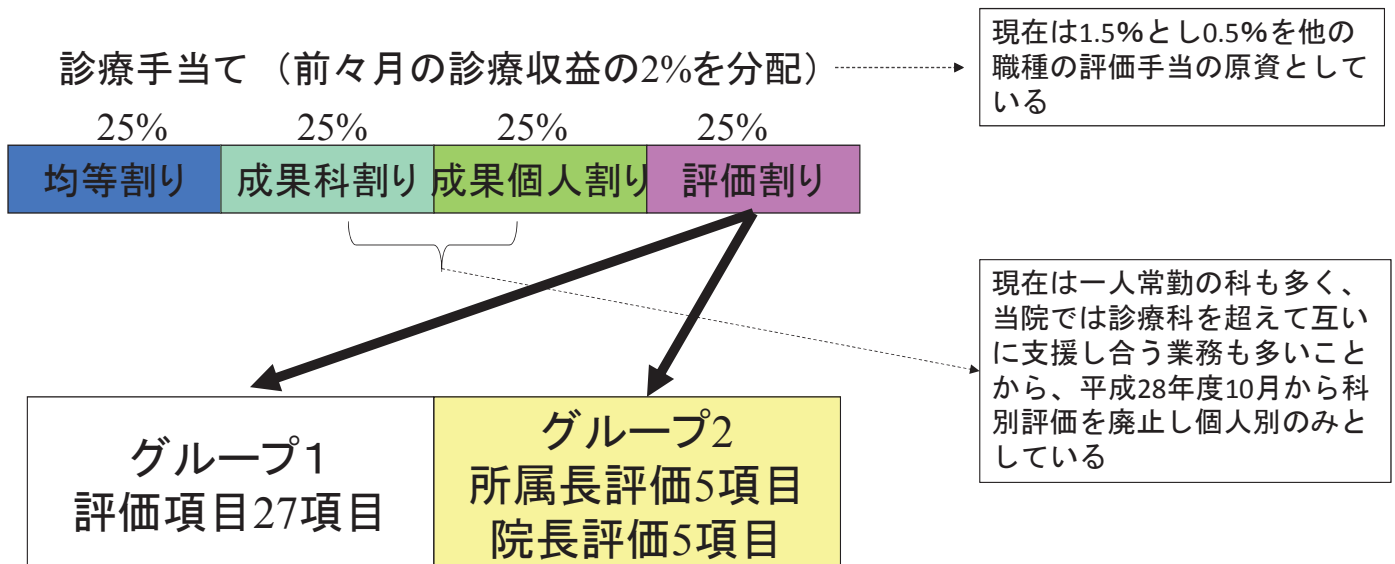
退院支援の強化

- 平成11年 看護部に退院支援を目的とした地域医療支援室を設置 後にMSWの所属する医療相談室、医事課病診連携係とを合わせて一体化し、地域医療連携室とした。
- 医師が退院許可を出したら、退院日の決定や退院先の調整などは、地域医療連携室を中心とした退院支援チームに任せる流れを構築してきた。



医師評価給の導入

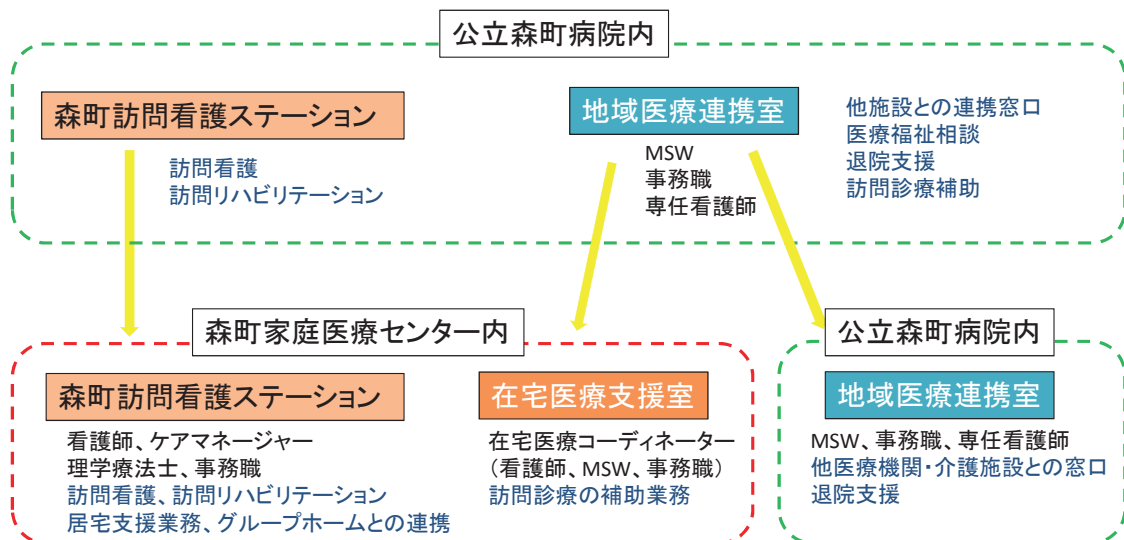
- 結果的に業務負担の大きかった医師に対して、給与面で適正な評価を行うことを目的として導入。医師全員の意見を取り入れ評価項目を設定。毎年院長ヒヤリングで目標設定の見直しを行っている。



医局秘書の配置

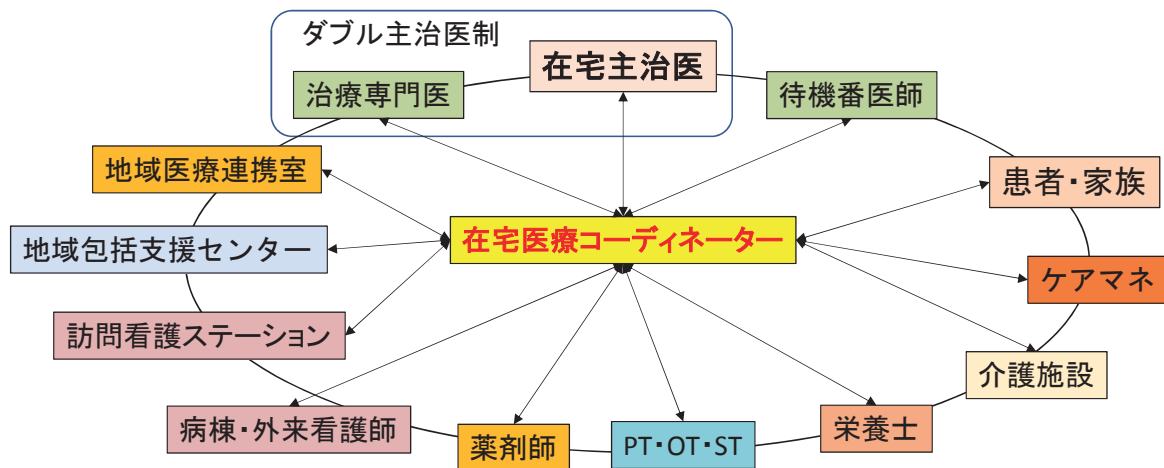
- 新臨床研修制度が開始し、当院にも地域医療研修の初期研修医が毎月交代でローテーションが始まったことなど、医師専属の管理業務の必要性が増したことから、平成20年に医局秘書を採用し、医師のスケジュール管理などを行ってきた。
- 各医師のスケジュールを院内ウェブに公開することで、面談時間の調整なども病棟看護師に任せるとし、できるだけ多職種が参加できる勤務時間内に組むようにしてきた。

在宅医療コーディネーターの配置



地域医療支援室に業務が集中していたことから、平成24年に在宅医療連携拠点事業を受託したことを契機として、訪問診療支援業務の専門部署として「在宅医療支援室」を設置し、在宅医療コーディネーターの育成に取り組んできた。

在宅医療コーディネーター



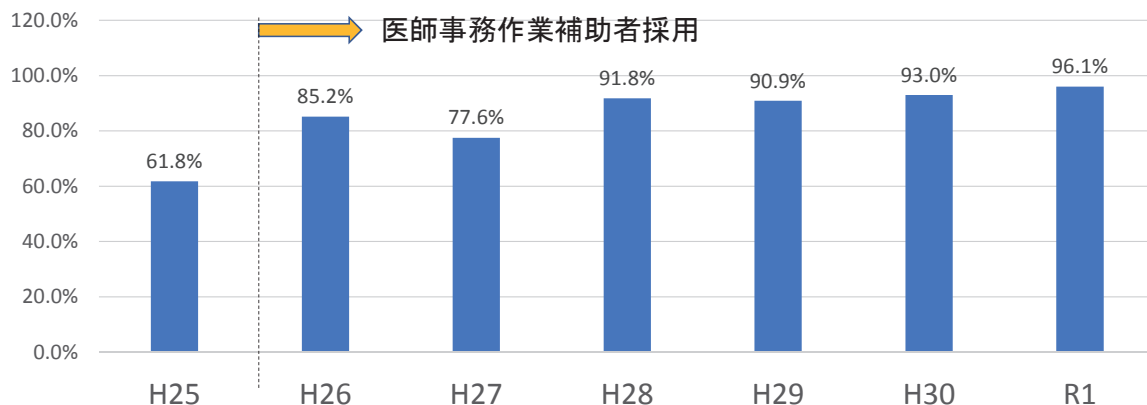
在宅医療コーディネーターの役割

- ★訪問診療の補助業務(訪問診療の日程調整、移動の補助、必要物品の準備、訪問診療の記録補助、患者情報管理など)
- ★患者、家族により近い立場の相談相手、専門職種への情報伝達
- ★24時間コール・センターの役割
- ★多職種合同カンファレンスの設定、その他在宅医療全般の地域の相談窓口

医師事務作業補助者の導入

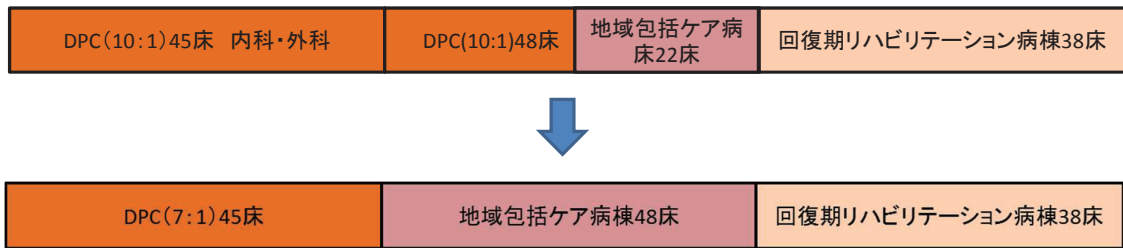
- 外来診療でのカルテ入力補助業務の他、各種診断書・証明書、紹介状やサマリーの記載などの支援
- 「医師事務作業補助者研修会」受講だけでなく、日本医療情報学会が開催する「医療情報基礎知識検定試験」を受験

年度別期限内医師文書完成率 (上半期の比較)



入退院センター機能の導入

- 平成26年度から地域包括ケア病床を導入し、平成28年度から3つの病棟を機能別に分けて運用を開始。
- 同時に、地域医療連携室に入退院を一体的に管理する機能を導入



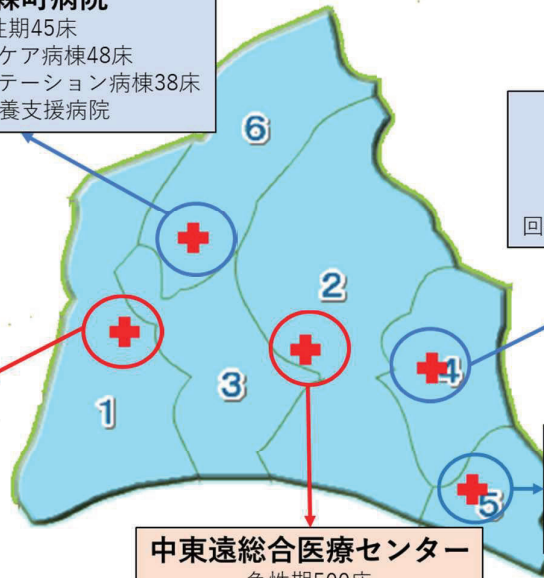
病病連携

中東遠2次医療圏
人口465,470人
(H27年国勢調査)

1.磐田市	人口167,210人 高齢化率26.1%
2.掛川市	人口114,602人 高齢化率25.4%
3.袋井市	人口85,789人 高齢化率22.1%
4.菊川市	人口46,763人 高齢化率25.0%
5.御前崎市	人口32,578人 高齢化率26.9%
6.森町	人口18,528人 高齢化率30.8%

公立森町病院
急性期45床
地域包括ケア病棟48床
回復期リハビリテーション病棟38床
在宅療養支援病院

菊川市立総合病院
急性期118床
精神科58床
地域包括ケア病棟44床
回復期リハビリテーション病棟40床



磐田市立総合病院
急性期500床
救急救命センター
地域医療支援病院
地域周産期母子医療センター
地域がん診療連携拠点病院
認知症疾患医療センター

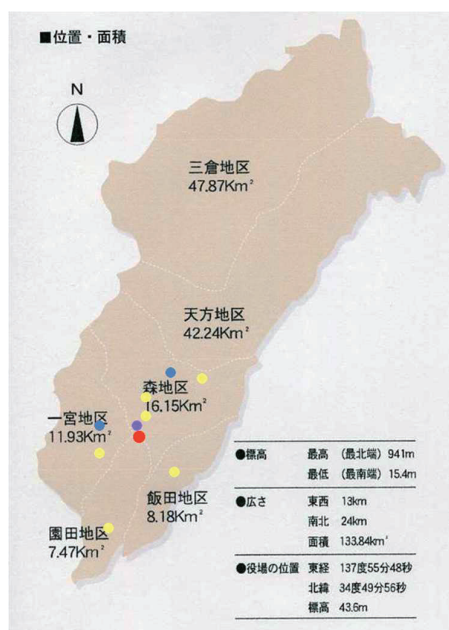
中東遠総合医療センター
急性期500床
救急救命センター
地域医療支援病院
認知症疾患医療センター

市立御前崎総合病院
急性期85床
療養54床
回復期リハビリテーション病棟60床

公立病院院長・事務長会議

- 年に2回、中東遠2次医療圏の公立病院院長・事務長が一堂に会し、情報交換する会議を行ってきた。
- 各病院の経営情報を互いに共有し、病院運営に関する諸問題を話し合い、「顔の見える関係」を構築してきた。

病診連携



- 町内に6診療所、月1回定期的に会合を持つ
- 平成18年度から、週1回18時から22時まで診療所の医師も当院の救急外来業務に参加。現在は2つの診療所のみ参加。
- 公立森町病院・森町家庭医療クリニック
- 開業診療所(6施設)
- 老人保健施設(1施設)
- 特別養護老人ホーム(2施設)

地域住民との連携

- 平成11年に、病院ボランティア組織「かわせみ」発足。
- 平成12年度から、町長、町会議員、役場職員も参加し、院内部署別目標発表会を年1回開催。後に住民ボランティアも参加するようになった。
- 平成22年、住民有志からなる「森町病院友の会」発足。
- 平成22年度から、町内各戸に配布された同報無線機を通して、月1回病院から情報発信を行ってきた。
- 平成24年度から、年3回「多職種合同カンファレンス」を開催し、民生委員も参加。
- 平成24年度、町内企業のQCサークル指導士による指導の下、院内QC活動開始。
- 平成27年に、中山間地域での巡回診療開始。住民ボランティアによる送迎支援開始。

ボランティア「かわせみ」



1998年発足



年に1回病院職員と合同の旅行

公立森町病院院内部署別目標発表会



平成12年度から毎年、町長、町議会議員、役場の課長、ボランティア、民生委員、森町病院友の会会員なども交えて恒例の行事として行ってきた

森町病院友の会

平成22年9月に設立され、地域懇談会などを通じて、病院と住民の架け橋となっている。



発起人の方々と



第1回総会



森地区地域懇談会



三倉地区地域懇談会

住民への普及啓発・行政との連携

住民向け在宅医療講演会(H24.9.8)



いばらき診療所
照沼秀也先生の
住民向け講演会
「在宅医療って
なあに」
多くの住民が参
加した

静岡県総合防災訓練 森町会場(H.24.9.2)



行政・住民ともに森町家庭医療センター(救護所)・森町病院
(救護病院)で訓練を行った。

住民向けパンフレット作成



在宅医療についてのパンフレットの後に
在宅医療Q&A集も作成し各戸配布した

森町病院友の会主催の地域懇談会 (H24.11.17 三倉地区)



この回から町の保健福祉課長も同席
森町を6地区毎に、年間通して合計6回
地区懇談会を開催

森町同報無線

毎月15日森町内
各戸に配布された
同報無線機を通じ
て、在宅医療につ
いての広報を行っ
た。



地域医療連絡協議会

H24年1月地域医療全般について協議するため、
森町の保健福祉課、地域包括支援センター職員、
訪問看護ステーション職員、森町病院職員、森町
家庭医療クリニック所長が委員となり、副町長をオブ
ザーバーとして協議会が立ち上がった。今年度の
議題は、災害対策と在宅医療に集約された(今年
度は4回開催)。訪問看護ステーションが中心とな
り在宅患者への災害マニュアルを作成した。

多職種合同カンファレンス

参加者

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・PT・ST・OT
ケアマネージャー・地域包括支援センター職員
在宅医療コーディネーター・介護施設職員・栄養士
森町役場保健福祉課職員・生活支援コーディネーター
事務職・民生委員・「森町病院友の会」会員 等

年間テーマ

H24年度 在宅医療の課題抽出と解決策の検討
H25年度 認知症ケアのネットワーク構築
H26年度 各事業所の取り組み
H27年度 異業種間の情報共有のしくみづくり
H28年度 人々の生活を支える専門職の役割
H29年度 地域で支える認知症
H30年度 地域ぐるみの健康づくり
R1年度 健康づくりと終末期のあり方

参加者数

	第1回	第2回	第3回	平均
H24年度	59	66	68	64.3
H25年度	76	64	65	68.3
H26年度	103	71	63	79.0
H27年度	63	81	77	73.7
H28年度	81	82	85	82.7
H29年度	69	88	74	77.0
H30年度	101	73	60	78.0



QCサークル活動活動

町内企業の豊田合成のQCサークル指導士からお誘いがあり平成24年度から院内中堅職員研修に取り入れた



様々な発表会で優秀賞・最優秀賞取得



豊田合成の
QCサークル指導士

巡回診療所

H27年5月から三倉地区大久保の公会堂（三丸会館）を利用して巡回診療所を始めた。

H30年1月から
上野平公民館で
2か所目の
巡回診療所を
開設



「森町病院友の会」

【活動】 3つのニーズを融合（合体）

- ・住民：診療所に行けない
 - ・病院：送迎したいができない
 - ・会員：ボランティア活動したい
- 送迎支援**



勤務体制の変更

変更前

平日

8 : 15 ~ 17 : 00 通常勤務

17 : 00 ~ 8 : 15 宿直（当直扱い）

土日・祝日

8 : 15 ~ 22 : 00 日直・宿直業務（当直扱い）

日直・宿直は当直手当+患者対応などの実質労働時間分の時間外労働手当を支給



変更後

平日

8 : 15 ~ 17 : 00 通常勤務

17 : 00 ~ 22 : 30
宿直（労働時間）

22 : 30 ~ 6 : 00
休憩時間

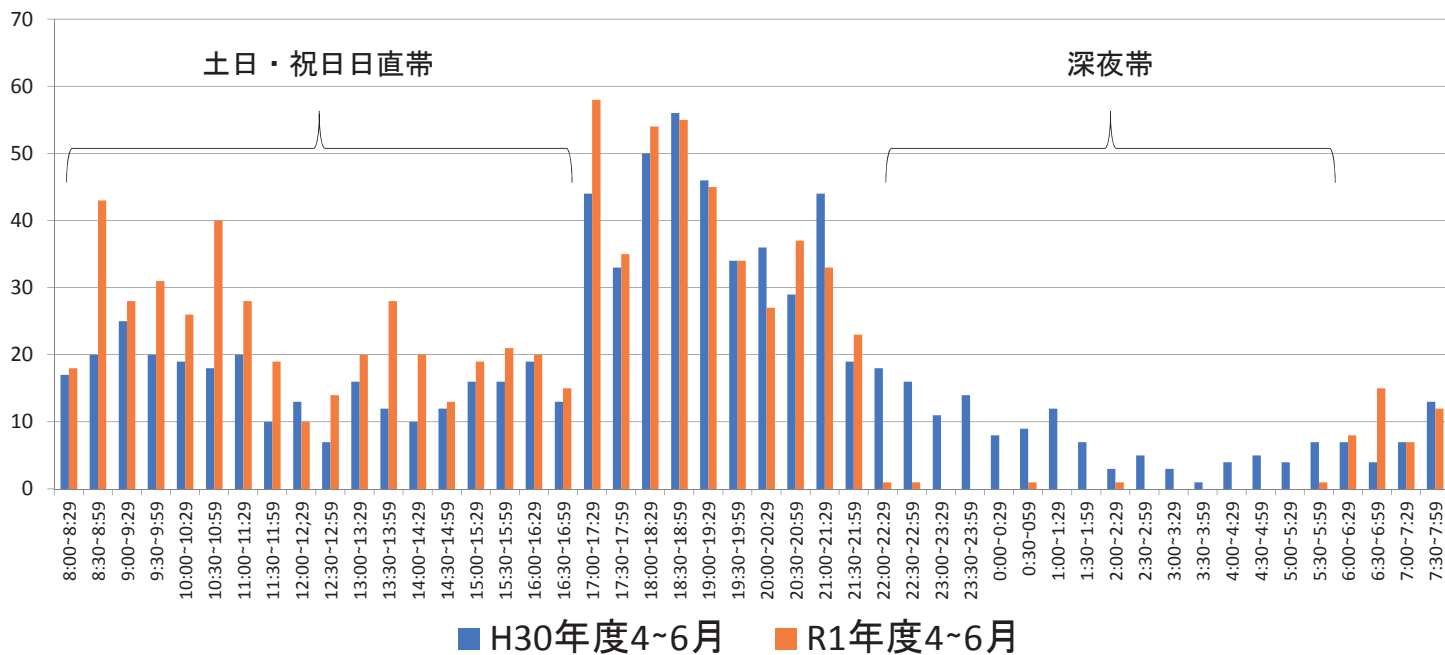
土日・祝日

8 : 15 ~ 22 : 00 日直・宿直（労働時間）

22 : 30 ~ 6 : 00
休憩時間

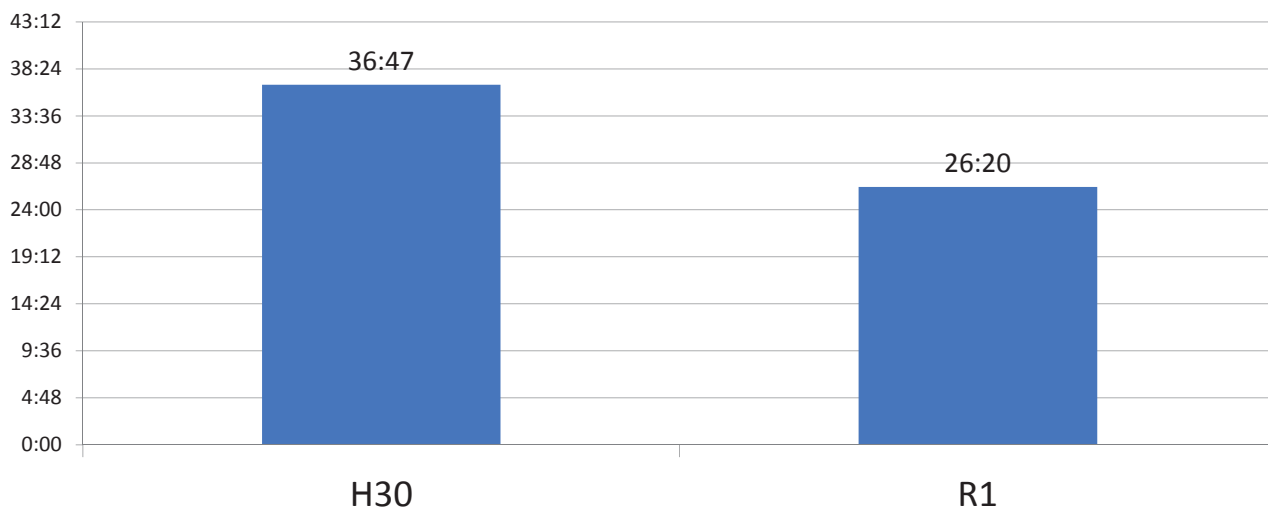
日直・宿直はすべて労働時間として扱い、平日の宿直時間1回に対して、通常業務時間の半日を2回に分けて振替休日として取得することとした

平成30年度とR元年度の4月～6月の 時間帯別時間外患者数



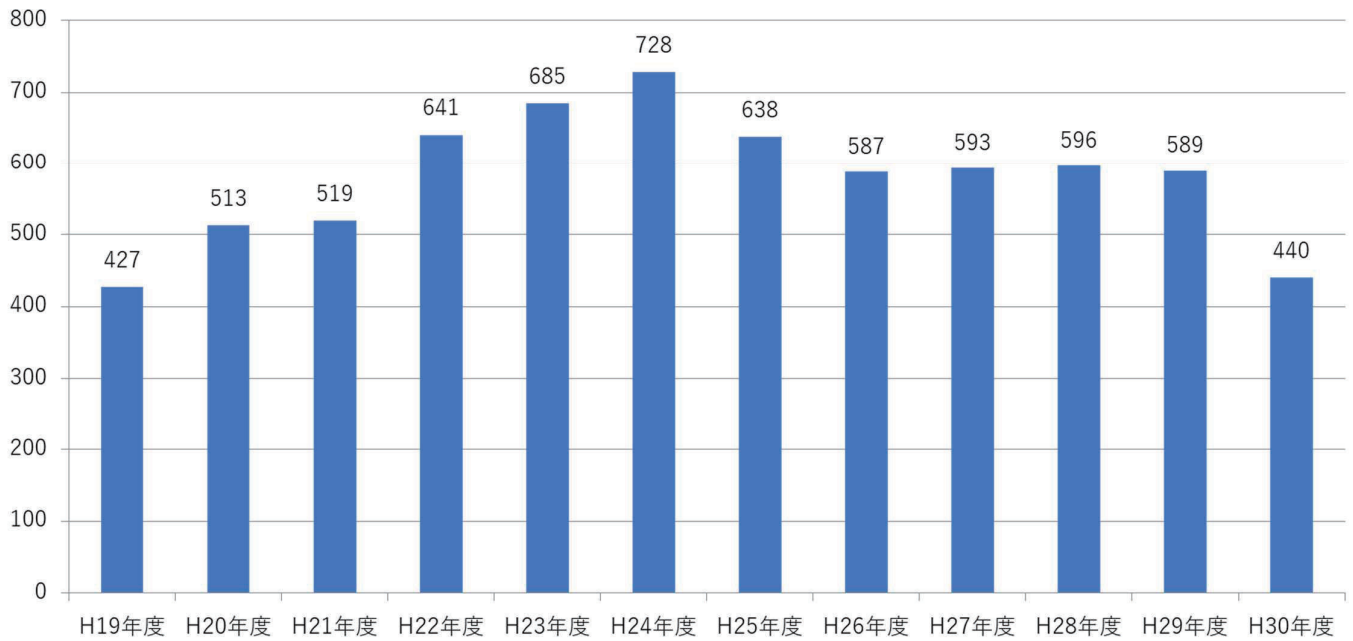
上半期医師超過勤務時間の比較

医師一人当たり超過勤務時間



件

図3 公立森町病院年度別救急車搬入件数

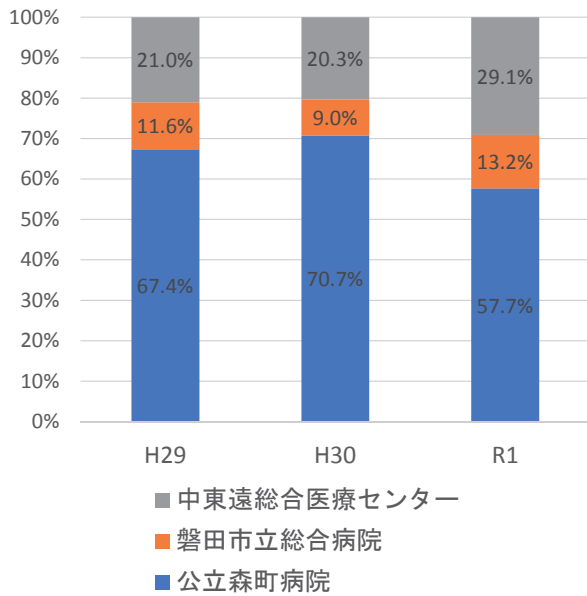


上半期(4月～9月)救急車搬入数と時間外患者数

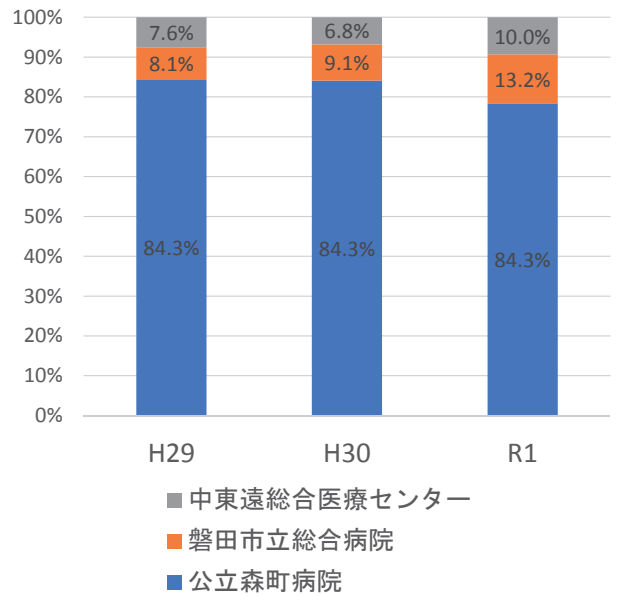
病院名	年度	月平均救急車搬入数			月平均時間外患者数		
		救急車搬入数	森町住民救急車搬入数	森町住民比率	時間外患者総数	森町住民時間外患者数	森町住民比率
公立森町病院	H29	49.3	21.5	43.6%	372.7	239.3	64.2%
	H30	41.2	23.7	57.4%	330.3	217.8	65.9%
	R1	35.0	21.8	62.4%	299.7	197.5	65.9%
磐田市立総合病院	H29	405.0	3.7	0.9%	1426.2	23.0	1.6%
	H30	424.7	3.0	0.7%	1300.8	23.5	1.8%
	R1	415.0	5.0	1.2%	1283.2	33.8	2.6%
中東遠総合医療センター	H29	441.0	6.7	1.5%	1801.2	21.5	1.2%
	H30	516.5	6.8	1.3%	1744.7	17.7	1.0%
	R1	484.2	11.0	2.3%	1684.8	25.8	1.5%

森町住民受診病院比率の上半期比較

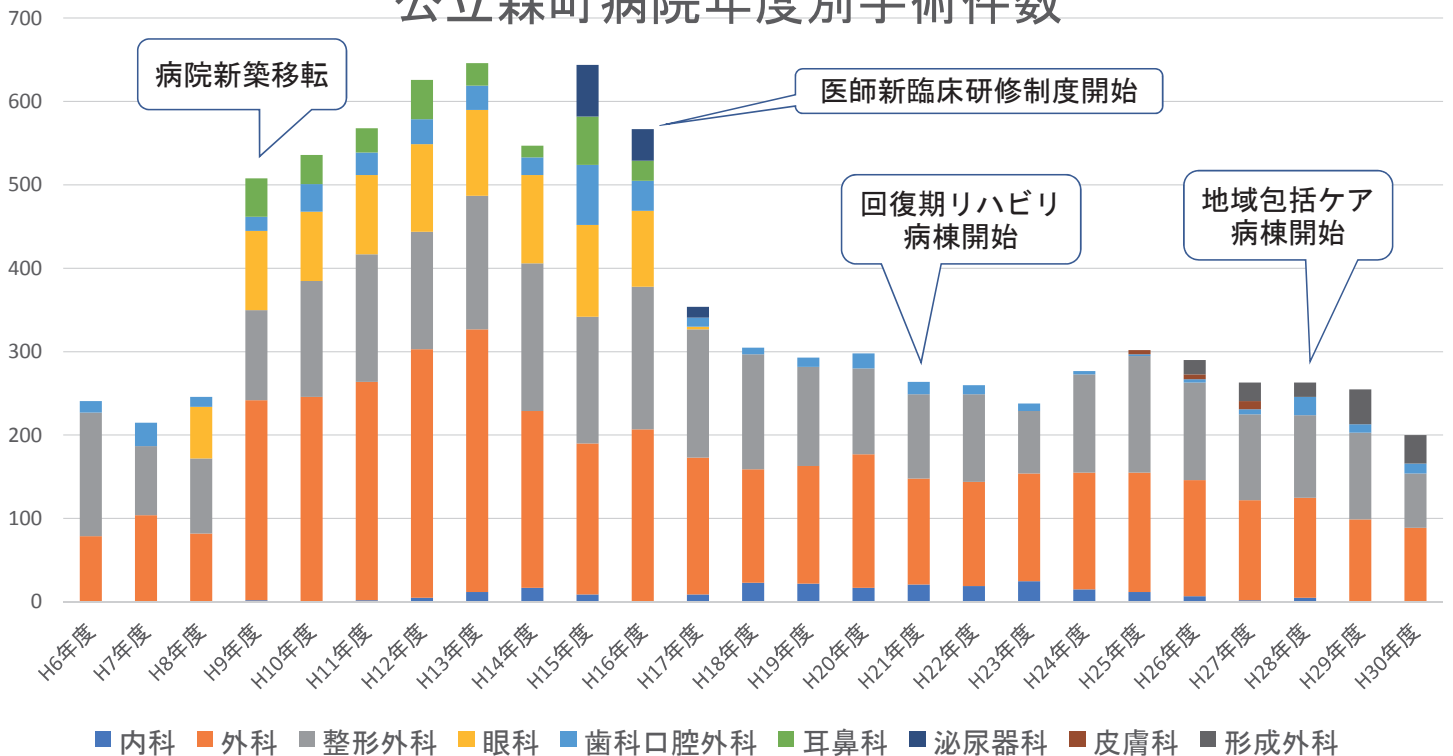
救急搬送病院比率



時間外受診病院比率



公立森町病院年度別手術件数



医師の働き方改革には、医療の当事者である、住民・行政・専門職がそれぞれの役割を果たすことが必要

